

年輪

第59号 平成31年1月吉日

NENRIN PART II



- 2 理事長挨拶
- 3 苦情処理委員会
- 4～5 機能訓練士の取り組みについて
- 6～7 米寿・白寿祝い
- 8～11 スケッチブック
- 12 愛の風車・表紙のひと・編集後記



社会福祉法人
大野和光園

将来展望の年の年頭にあたり

理事長 砂 子 三 郎



皆様におかれましては、ご健勝にて平成としては最後となる初春を、お迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨今の介護福祉を取り巻く状況は厳しさを増しており、とりわけ介護人材の確保は全国的に喫緊の課題となっております。

本市においても、これまで多くの優れた人材を本園に輩出していただいていた奥越明成高校生活福祉科は、少子化や高学歴化の影響で募集定員が減らされ、これまでのような人材確保が困難になってきております。

こうした状況を打開するため、国は入国管理法の改正を行い、外国人介護労働者の受け入れ拡大を検討しておりますが、本園といたしましても、受け入れのメリット、デメリットを十分研究・検討して、慎重に対応してまいりたいと考えております。

次に、本園の中期計画について申し上げますと、これまで本園の運営は、単年度の事業計画を基本として行つてまいりましたが、施設の老朽化に伴う改築や介護関係

機器の更新、人材確保といった、将来を見据えた経営設計が非常に重要となつてきております。

全国経営協では各施設の強み、弱みを端的に把握し、健全な経営継続を図るための手法として、中長期の計画策定を推奨しておりますが、本園においても2018年から2020年度までを計画年度とする第1期中期計画を策定し、実行計画・資金計画の中で、今後の将来設計を行ったところでございます。

本年10月の消費税10%導入を控え、福祉を取り巻く環境が大きく変わる中であつて、利用者の方々の取捨選択の幅がこれまで以上に広がり、優れたスタッフによる優れたサービスを提供できる施設のみが生き残れる時代になつてきたと痛感いたしております。

大野和光園は職員一同、これまで以上に研鑽に励み、皆様に最小の経費で最大のサービスを提供できるよう頑張つてまいります。

皆様のこれまで以上のご指導、ご鞭撻をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多い年となりますようお祈り申し上げ、新春のごあいさついたします。

「苦情申出窓口」について

社会福祉法第82条の規定により、本事業所では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

本事業所における苦情解決責任者、苦情受付担当者等および第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めておりますのでお知らせします。

1. 苦情解決責任者 専務理事 藤森 勉
2. 苦情受付担当者 常務理事 山村 正人

事業所名	窓口担当者	事業所名	窓口担当者
養護老人ホーム	山内 英弘	訪問介護（ヘルパー）事業所	木瀬かおり
特別養護老人ホーム大野和光園(ユニット型)	角田貴美子	訪問看護事業所	前田 珠美
特別養護老人ホーム大野和光園(従来型)	松山佳予子	居宅介護支援事業所	常見 博美
短期入所生活介護（ショート）事業所	角田貴美子	大野和光園和らぎの里	小林さなえ
通所介護（デイサービス）事業所	堀 亜住	大野和光園和らぎの里 ショートステイ事業所	小林さなえ
認知症対応型通所介護 （なかよしデイサービス）事業所	堀 亜住		
訪問入浴事業所	稲垣 成久		

3. 第三者委員 (1) 江波 庄進 大野和光園監事 【連絡先 大野市上荒井4-26 電話 65-4562】
(2) 田中 幸一 大野和光園監事 【連絡先 大野市陽明町1-1201 電話 66-3732】

4. 苦情受付の方法

(1) 苦情の受付

苦情は面接、電話、書面等により上記2による苦情受付担当者が受付けます。尚、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

(2) 苦情受付の報告と確認

苦情受付担当者が受付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く）に報告いたします。第三者委員は苦情内容を確認し、苦情申出人に対して報告を受けた旨を通知します。

(3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。その際、苦情申出人は、第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

尚、第三者委員の立会いによる話し合いは次により行います。

- ア、第三者委員による苦情内容の確認
- イ、第三者委員による解決案の調整、助言
- ウ、話し合いの結果や改善事項等の確認

(4) 福祉サービスに関する苦情解決機関の紹介

本事業所で解決できない苦情は、下記の機関に申立てることができます。

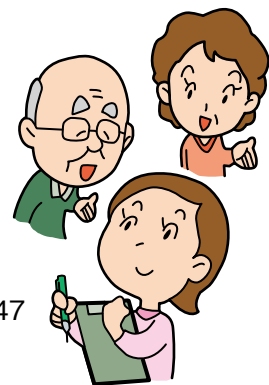
●福井県社会福祉協議会運営適正化委員会

〒910-8516 福井市光陽2-3-22 福井県社会福祉センター内 ☎ 0776-24-0247

●福井県国民健康保険団体連合会

〒910-0843 福井市西開発4-202-1 福井県自治会館4階 ☎ 0776-54-1614

●大野市 健康長寿課 〒912-0084 大野市天神町1-19 大野市役所内 ☎ 0779-66-1111



苦情処理委員会 報告

去る平成30年7月3日、平成30年度 第1回苦情解決処理委員会が開催されました。

第三者委員の立会いのもと、当園の苦情取扱要綱及び様式等、苦情報告と解決処理の流れの確認と、苦情受付窓口担当者からこれまでの受付内容が報告されました。

【苦情内容】

・送迎に関する苦情・職員の対応に関する苦情・食事提供に関する苦情 等

皆様からお寄せいただいた苦情は、誠意をもって話し合い、適切な解決に努めます。

機能訓練指導員とは、利用者様が日常生活を営むのに必要な身体機能を改善し、又はその減退を防止するための訓練を行う能力を有すると認められる者であり、理学療法士や看護師といった資格を有する者とされています。

そして特別養護老人ホームにおける「個別機能訓練」とは、機能訓練指導員や看護職員、介護職員、生活相談員等の職種が連携し個別の機能訓練計画に基づいて訓練を行ったりサービスを提供することです。1対1で機能訓練を行うことのみではなくて、集団で行われる体操やレクリエーションもあります。

水上 英次郎

佐藤 さおり

土井 勇人



当園の機能訓練士

機能訓練士の取り組みについて



歩行支援の様子



ポジショニング研修開催



伊藤PT、長い間
ご指導ありがとうございました



特に特養では、日常的な介護の場面での生活動作で他職種の協力を得ながら、生活の中に機能訓練を位置づけることが大きな仕事となります。例えば移乗介助時において、安易に全介助で行うのではなく、残存機能を評価し、利用者様に運動能力があればそれを生かし、必要最低限の介助で行ってもらえるようにします。その際に、利用者様に対して「身体の使い方」を説明し誘導します。このような対応ができるように、介護職員に対して指導・援助しています。さらに、重度な障害の方のターミナル期・看取り期においては、ベッド上のポジショニングに配慮して、呼吸状態の安定と安楽を図り、身体変形拘縮や褥瘡の予防・改善、疼痛緩和などに努めています。機能訓練の立場から移乗方法や移動方法のアドバイスをすることで他職種の仕事の改善・負担軽減につながり、その結果、利用者様の生活環境の改善に貢献するという役割を担っていると考えています。



ございます



野田千都子様

大正8年8月1日生



藤沢き志様

大正8年9月13日生



小形なつ様

大正9年1月10日生



おめでとう



森岡美耶子様

昭和5年8月27日生



幸野すさを様

大正8年12月5日生

笹島ちゑの様

大正9年2月8日生

養護

スケッチブック



ドライブ



カレーライス大会



流しそうめん



運動会



和らぎの里

スケッチブック



運動会



福井国体 相撲観戦

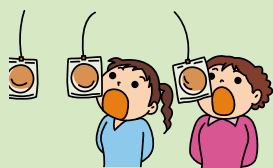


特養
従来型

スケッチブック



流しそうめん



運動会

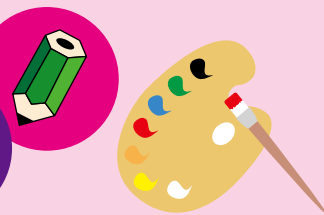


ゲーム大会



特養
ユニット型

スケッチブック



運動会



外出



愛の風車

平成30年7月～平成30年12月
寄付・寄贈・ふれあい訪問・奉仕 芳名列

【寄 付】

北山よし子様 特養 谷口たまゑ様のご遺族

花房文子様 特養 花房次夫様のご遺族

堂村信博様 特養 堂村キクノ様のご遺族

【寄 贈】

●マルハン様(お菓子) ●吉田繁信様(介護用品)

●喜久屋様(飲料) ●森高和敏様(十二支飾り物)

●森岡清子様(野菜)

【ふれあい訪問】

●土田久美子様(音楽教室)

●土肥純子様(音楽教室)

●柿木ひで子様(傾聴、園芸、洋裁ボランティア)

●柳原広敏様他一名(楽器演奏)

●大野仏教連合会様(読経法話会)

●よつば会様(傾聴ボランティア)

●上庄中学校ボランティア委員会様(ふれあい訪問)

●篠座保育園様(敬老慰問・作品展示)

●有終西小学校様(ふれあい訪問)

●いなやまこども園様(ふれあい訪問)

●結太鼓様(太鼓演奏)

【奉 仕】

●天理教青年部様(清掃奉仕)

●辻登代子様(散髪ボランティア)

●春若壮年会様(清掃奉仕)



表紙のひと紹介

左 木下しげこ様(和らぎの里 こぶし)

右 田原すみ子様(和らぎの里 こぶし)

いつも素敵な笑顔と笑い声で周りを和ませてくれているお二人です。

習字や貼り絵など、季節ごとの作品作りにも積極的に取り組まれています。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。2019年の干支は、いのししです。

ダムの跡地にいのししが落ち、出られなくなっているところを地域の人が見つけ、皆が協力して助けるという明るいニュースがありました。

当大野和光園も、地域の皆様と助け合い、明るい一年となりますよう頑張つて参ります。

(PR委員会)

発行／大野和光園 ☎912-0061 福井県大野市篠座79-11
TEL 0779-66-2551(代) FAX 0779-65-0905
メールアドレス：wakoen-2@angel.ocn.ne.jp
発行人／砂 子 三 郎